◇2025年 年頭所感

各団体 年頭所感

芽吹きの年目指しまい進

佐賀県建設業協会会長　松尾 哲吾

あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、元日に、「令和6年能登半島地震」が発生しました。

地震の規模がマグニチュード7・6、最大震度7が観測された巨大地震によって、多くの死傷者、家屋被害などが発生しました。

さらに石川県では、「令和6年9月能登半島豪雨」も発生し、度重なる重篤な被害のため、復旧作業がなかなか進んでいないようです。

改めまして、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げます。

県内では、豪雨災害、豚熱や鳥インフルエンザなどの災害対応や防疫対応が複数発生しましたが、令和6年は、特段大きな災害や事案への対応はなく、そういった面では比較的落ち着いた1年となりました。

一方、社会経済の情勢としては、ウクライナ紛争や中東情勢などが、日本の輸出企業やサプライチェーンに影響を及ぼしています。さらにそれは、国内企業の投資判断や国民の消費動向にも影響を与え、経済回復の下振れの要因となっています。

さて、地方の中小建設業を取り巻く環境につきましても、依然として厳しい状況が続いていますが、事業量に関する、都市や大手企業との地域間格差や企業間格差は年々拡大し、地方の経済と景気は低迷し、地方の基幹産業でもある建設業にも大きな影響を与え、地域の災害対応等にも不安が生じています。

こうした中、国の「5か年加速化対策」の実施等により公共建設投資が一定確保され、設計労務単価も12年連続の引き上げとなるなど、地域建設業を取り巻く環境は、全体として改善傾向にはあります。

近年、激甚化・頻発化する自然災害や、老朽化するインフラ等への対策については、さらなる充実が必要であることから、昨年6月の国土強靭化基本法の改正に基づく「国土強靭化実施中期計画」が早期に策定され、必要かつ十分な事業量が確保されていくことを期待しています。

私たち地方の中小建設業が、将来を見通し、働く人たちの処遇を改善し、担い手を確保・育成していくためには、中長期にわたる安定的・持続的な事業量の確保が必要不可欠です。

さらに私たちは、将来の担い手確保を目指し、現在従事いただいている皆さまはもとより、今後建設業を目指す若者が、夢と誇りを持って働ける、希望に満ちた業界となっていけるよう、新3Kに「かっこいい」を加えた新4Kの実現に向け、既に始まった時間外労働の上限規制に適応し、ICT・DXの導入や活用を含めた働き方改革の推進に向けて取り組んでいく必要があると考えます。

大阪万博が開催されます今年は、巳年です。ヘビが脱皮を繰り返すことから「復活と再生」を連想させ、巳年は、蓄えてきた力が実を結び、芽吹かせる年とも言われます。

私どもの業界でも、業界や各社で準備し、蓄えてきた力を芽吹かせる「建設業の芽吹きの年」となりますよう、力強くまい進したいものです。

皆様方には、本年も、一層の御支援、御指導をお願い申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

更なる佐賀の道路づくりを目指して

佐賀県舗装部会会長　江頭 一樹

新年あけましておめでとうございます。佐賀県舗装部会の会長として、皆様に心より新年のご挨拶を申し上げます。

2024年は、全国各地で自然災害が相次ぎました。特に大雨や台風による被害が甚大で、私たちの地域でも多くのインフラが影響を受けました。道路の舗装が剥がれ、交通網が寸断されるなど、私たちの生活基盤が脅かされる事態が発生しました。これらの災害は、私たちの業界が果たすべき役割の重要性を改めて認識させるものでした。

建設業界全体においては、こうした自然災害への対応が急務となっています。耐久性のある舗装や災害時の迅速な復旧作業が求められていますが、同時に人手不足や高齢化が進んでいるため、熟練技術者の確保が大きな課題となっています。また、施工技術の向上や新たな材料の導入も必要であり、業界全体での技術革新が求められています。

私たち佐賀県舗装部会では、これらの課題に対処するための取り組みを強化しています。具体的には、技術者の資格取得支援講習会を開催し、新しい技術や知識を習得する機会を提供しています。また、地域のニーズに応じた舗装工事の実施を進めることで、地域のインフラ整備にも寄与しています。さらに会員企業では、災害復旧に向けた迅速な対応体制を整備し、地域社会に貢献することを目指しています。

今後の展望としては、私たちの業界が持続可能な発展を遂げるためには、次世代の技術者育成が不可欠です。若い世代に建設業の魅力を伝え、興味を持ってもらうための取り組みを進めていく所存です。地域住民との連携を強め、透明性のある業務運営を心掛けることで、信頼される業界を目指していきます。

新しい年が皆様にとって素晴らしい成果をもたらすことを心より願っています。共に力を合わせ、佐賀県の舗装業界のさらなる発展を目指しましょう。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。私たちの業界が直面する課題を共に乗り越え、明るい未来を築いていけることを信じています。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2025年1月

佐賀県舗装部会

会長 江頭 一樹　副会長 峰 一智　副会長 井手 哲也

［会員一同］

今泉建設㈱　唐津土建工業㈱　黒木建設㈱　㈱シライシ舗道　㈱中山組　平野建設産業㈱　㈱峰組

㈱エスイーコーポレーション　㈱岸本組　㈱坂口組　成和建設㈱　㈱西九州道路　富士建設㈱　牟田建設㈱

㈱大島　栗原工業㈱　㈱修徳建設　㈱中島工務店　㈱日出島建設　㈱政工務店　山口建設㈱

㈱岡村建設　㈱栗山建設　㈱城南建設　㈱中野建設　㈱平川建設　松尾建設㈱　㈱山崎建設

【事務局】
〒840-0041佐賀市城内2-2-37 佐賀県建設会館3F
TEL0952-29-8010